

■マレーシア：MOEGTW が電気料金の値上げを検討

エネルギー・環境技術・水道省（MOEGTW）は2012年5月9日、発電用のガス価格を引き上げるため、電気料金の値上げを検討していると発表した。同省は、現在、発電用のガス価格は100万BTU当たり13.7リンギ（約368円）で、国際相場の40リンギ（約1,074円）を下回っているため、近く価格を引き上げるようになっており、それに伴い電気料金を値上げする必要があるとしている。今後、発電用ガスと電気料金の価格設定や値上げの時期が決定される2011年6月に電気料金が値上げ（平均7%の値上げ）され、TNB（半島マレーシアの電気事業者）の平均販売単価は2010年の0.32リンギ/kWh（約8.59円/kWh）から2011年には0.335リンギ/kWh（約8.99円/kWh）に上昇した。